



今回は、アーツ前橋のコミッションワークを紹介します。コミッションワークとは、作家に恒久的設置を目的とした作品制作を依頼するもので、作品と設置場所、そして人をつなげる役割を担っています。建物の周りなどに展示することで、作品をいつでも

コミッションワーク

アーツ前橋探検

vol.3



見てもらうことができます。

アーツ前橋では、期限を設けて開催する展示や各種事業に加え、コミッションワークをさまざまな場所で行っています。これらの作品は、地域との連携や市民参加によって制作されています。

例えば、廣瀬智央さんの「空のプロジエクト・遠い空、近い空」。これは、ミラノ在住の廣瀬さんと本市内の母子生活支援施設「のぞみの家」の子どもたちが、お互いが見ている空の写真をやりとりした「空の交換日記」を通じて制作されました。以前は専門学校の看板が設置されていた場所に、15の空の表情が展示されています。その他、Tokyo Dex「青い猫のいる街」や山極満博さんの「小さなわすれもの」などの作品が、アーツ前橋の内外に設置されています。

ここではあえてどこに設置されているかはお話ししません。ご来館の際は、ぜひ、アーツ前橋のコミッションワークを探してみてください。

問い合わせは

芸術文化推進室 ☎027-2300-1145

強い意志を持って夢の頂へ



世界最難関のアイガー北壁に挑む

土屋 久泰さん 60歳
東善町



世界最難関の一つと言われるアイガー北壁の登頂を目指している。尊敬する登山家・加藤滝男さんに掛けられた「意思があれば登れる」という言葉に感銘を受け、若い頃からずっと目標にしてきた。

「世界中の登山家が命掛けて切り開いてきたルートです。一緒に登山を始めた仲間も目指していましたが、誰も成し遂げていません。登山家人生の集大成として、みんなの気持ちを代表して挑みます」職場の先輩の勧めで18歳のときに初めて登った谷川岳一ノ倉沢。山頂の美しさや達成感から登山に魅了され、すぐに海外の山にも出掛けるようになった。婦恋のスキー場で生まれ育った土屋さんにとって、山は生活の一部だ。「最初に海外で登ったのはフランスの

モンブランです。欧州の山はコースが長く、岩や氷も大きいので難しいですが、おそろかまで独特の美しさがあります」

その後も世界中の山への挑戦を続け、56歳でマッターホルンに単独登頂した。「登山は、自分が諦めればいつでも中断できます。単独での登頂を成功させるには、強い意志が必要です」

3月に小学校教諭を定年退職し、登山に専念。毎日厳しいトレーニングを行う傍ら、山岳ガイドとしても活躍している。「海外でのガイドでは、世界中の人と交流しています。自分が知っている山の魅力を多くの人に伝えていきたいです」7月に渡欧し、ガイド業と並行しアイガー北壁にトライする。大きな目標に向け、心も体も準備は万全だ。



JR 前橋駅の利便性向上へ

5月22日、JR東日本本社でJR前橋駅の利便性向上のための要望活動を行いました。前橋駅発着便の増加や複線化など4項目を要望。市民の通勤通学の利便性や首都圏とのアクセス向上、本市産業の活性化を図るため、今後もさまざまな取り組みを行っていきます。



前橋産新鮮野菜市に大行列

春のばら園まつりに合わせて、敷島公園ばら園で前橋産新鮮野菜市を開催。とれたてで新鮮！前橋産の安全安心な野菜が、ずらりと並びました。満開のバラを見に来た人もつい足を止め、常に大行列が。次回は、7月7日(日)に七夕まつり会場で開催します。



愛情込めた庭園でお出迎え

敷島公園周辺で5月25日・26日、しきしまオープンガーデンフェスティバルを開催しました。これは「敷島公園花仲間」が大切に造り上げた自宅の庭を一般公開するもの。訪れた人たちは美しい庭を觀賞しながら、庭造りのコツなどの話に花を咲かせていました。



極彩色と匠の技に見入られる

6月2日、県指定重要文化財である上野総社神社本殿の保存修理工事見学会を開催しました。地元住民など50人が、彩色(塗装)や漆塗りの伝統技術を間近で見学。参加者は、鮮やかに彩られた修復部分や、細部にまでこだわり抜かれた匠の技に見入っていました。